

生活困窮者自立支援制度 申込書

【記入例】

総合支援資金 特例貸付用（令和2年10月～）

相談受付・申込票

（兼 総合支援資金特例貸付にかかる状況確認シート）

受付機関	ここは記載不要です 以下全てご記入ください。
ID	

■基本情報

ふりがな	よこはま たろう		性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input 2"="" type="checkbox/>()</td></tr><tr><td>氏名</td><td colspan="/> 横浜 太郎	生年月日	西暦 1975年 4月 1日 (45歳)
住所	〒 000- 0001 横浜市▲区△△町 1-2-3					
電話	自宅	(045)012-3456	携帯	(090)1111-2222		
メール	yokohama-taro@ x x x.co.jp					
来談者 *ご本人 以外の場合	氏名		来談者の ご本人と の関係	<input type="checkbox"/> 家族(本人との続柄: () <input type="checkbox"/> その他(()		
	電話	(()) - ()				

■ご相談内容

ご相談されたい内容に○をおつけください。複数ある場合は、一番お困りのことに◎をおつけください。

病気や健康、障害のこと		住まいについて	<input checked="" type="checkbox"/> 収入・生活費のこと
家賃やローンの支払いのこと	<input checked="" type="checkbox"/>	税金や公共料金等の支払いについて	債務について
仕事探し、就職について	◎	仕事上の不安やトラブル	地域との関係について
家族との関係について		子育てのこと	介護のこと
ひきこもり・不登校		DV・虐待	食べるものがない
その他(())			

ご相談されたいことや配慮を希望されることを具体的に書いてください。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う緊急事態宣言などにより、経営している店舗を休まざる得なくなり、総合支援資金の貸付を受けている。店舗の営業は再開しているが、業績が芳しくない状況でこの状態が続くと今後の生活費などが不安であり、転職なども考えていきたい。

申込する「区役所」名をご記入ください。

■相談申込み欄

横浜市 ▲区 福祉保健センター長

私は、相談支援の検討・実施等にあたり必要となる裏面に記載の関係機関（者）と情報共有することに同意の上、自立相談支援事業の利用を申し込みます。

令和 2 年 10 月 〇 日 本人署名 横浜 太郎 印

【利用目的】
◇相談業務を円滑に行うため
◇横浜市に対して自立相談支援事業利用申込、プラン申込を行うため
◇支援サービス提供、関係機関・者との連絡・調整等自立支援に資するため

記名押印または署名
をお願いします

【別表】関係機関・関係者等

区福祉保健センター生活支援課
区福祉保健センター福祉保健課
区福祉保健センター高齢・障害支援課
区福祉保健センターこども家庭支援課
区福祉保健センター保険年金課
区役所税務課
ハローワーク(公共職業安定所)
ジョブスポット
神奈川県社会福祉協議会
横浜市社会福祉協議会
区社会福祉協議会
よこはま若者サポートステーション
湘南・横浜若者サポートステーション
法テラス
就労準備支援事業委託事業者
家計改善相談支援事業委託事業者
学習支援・生活支援事業委託事業者
就労訓練事業支援センター実施事業者
地域若者サポートステーション・地域ユースプラザ
その他()

<区社会福祉協議会あて通信欄>

自立相	<input type="checkbox"/> 支援決定(月 日) ⇒ 社会福祉協議会への連絡 <input type="checkbox"/> 非決定 <input type="checkbox"/> 生活保護受給 <input type="checkbox"/> その他
	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">ここは記載不要です。</p> 今後の対応方針、モニタリング予定